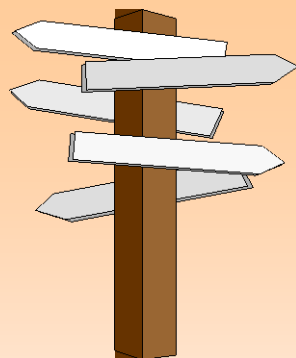


研究調査法へ ようこそ

- フロッピーディスクを用意してますね。
- 学籍番号順に定められた座席に座ってください。
- 入り口に準備されている配布資料を各自で受け取ってください。
- 出席カードを**1**枚ずつ取ってください。

研究調査法

授業の目標



主体的に情報を収集し、評価し、
効果的に提供する訓練」

二つの効果



- 大学の学習に役立てる。
- 卒業後の生活の基礎づくり。

授業のポイント

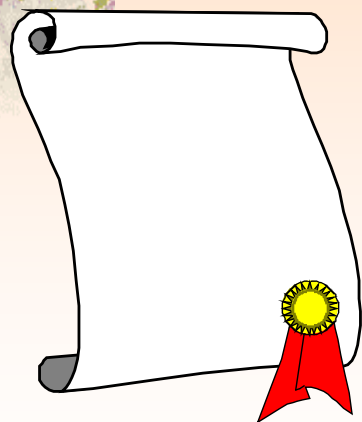
- 図書館資料を中心に、各種情報源より必要とする情報を入手、整理、提供する手法を実習する。
- 情報の選択と批判的読みを経験する。
- レポート・論文のまとめ方、プレゼンテーション技法を学ぶ。

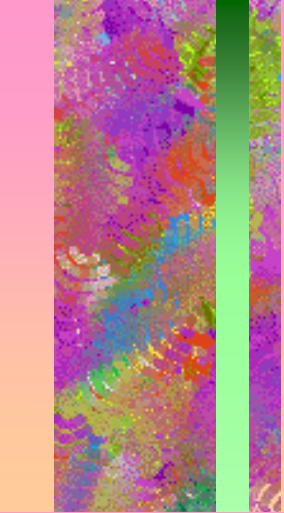
授業の内容と形態

- 講義および実習
- スケジュール表を参照
- 図書館およびコンピュータ演習室での実習
- WebCTを用いての自習と情報交換

単位認定方法

- 毎週のプロジェクト 20%
- 小論文 60%
- 期末試験 20%





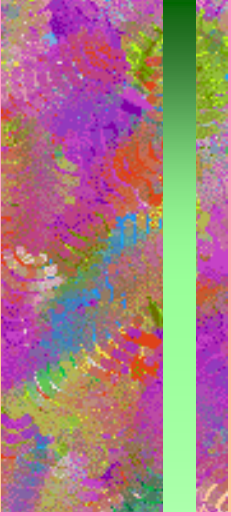
教科書



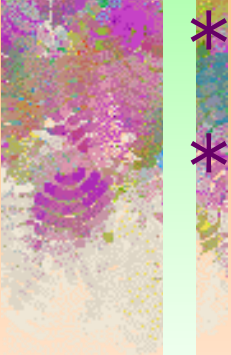
Trimmer, J.F.
A Guide to
M L A Documentation

情報と人間





情報とは

- 
- *精神機能により識別される刺激である。
 - *この刺激を発端として人間は発想をし、連想し、思考し、行動をする。
 - *識別される刺激は年齢、職業、興味、経験等により個人差がある。

情報化社会：定義

情報内容を的確にとらえ利用する
ものが社会的に優位を占め、
そうでないものが 他におくれを
とるしくみの社会

（三省堂新明解国語辞典）

- 
- 農耕時代：
 - 自然のコントロール
 - 工業化時代：
 - エネルギーのコントロール
 - 情報化時代：
 - 情報のコントロール

情報革命

- 第一：言葉の出現
- 第二：文字の出現
- 第三：印刷術の出現
- 第四：コンピュータの出現

情報化社会の明暗

- 情報化のプラス面
- 独占された情報が共有化→市民社会、民主的社会の基礎
- 情報化のマイナス面
- 情報公害、情報犯罪の増加

情報公害

- 情報の氾濫：画一化、センセーシヨナリズム、情報ニヒリズム、デカダンス
- 危険な情報：デマ、パニック、プライバシーの侵害
- 情報操作、情報断絶、流れの一方化、情報の生産者と消費者の分離

情報犯罪

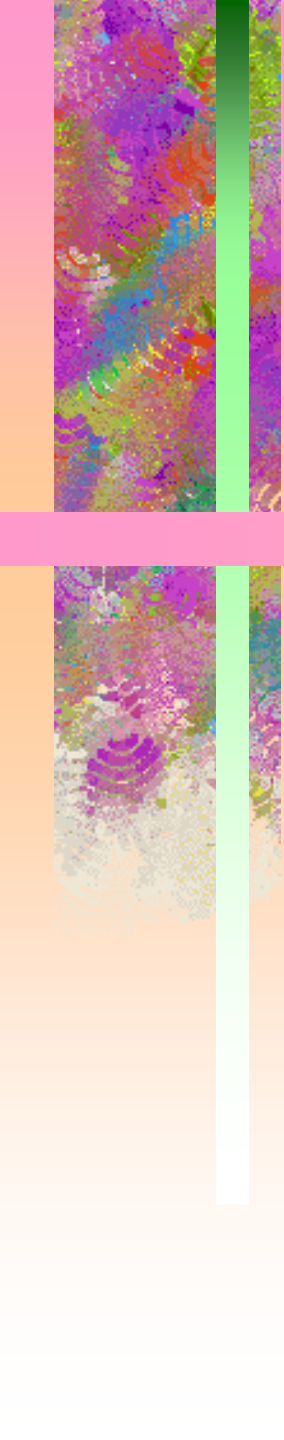
- 盗作、著作権の侵害
- コンピュータ犯罪
- ウイルス
- 不正アクセス
- 情報リーク

対 策

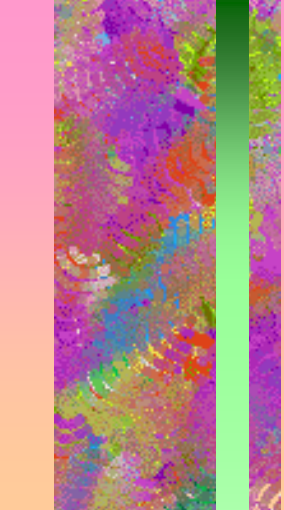
- 情報を使いこなす技術：
判断能力の育成
情報活用能力の育成
- 法律面の整備：
著作権法（知的所有権の確立）
情報公開法（知る権利の保証）
個人情報保護法案？

論文作成法

- 論文のまとめ方 1 0 steps
- ビデオ 「図書館の達人
v.6 :
レポート論文のまとめ方」



ビデオを見て
どう思いましたか？



Step 1



テーマの選択

テーマ選択のポイント

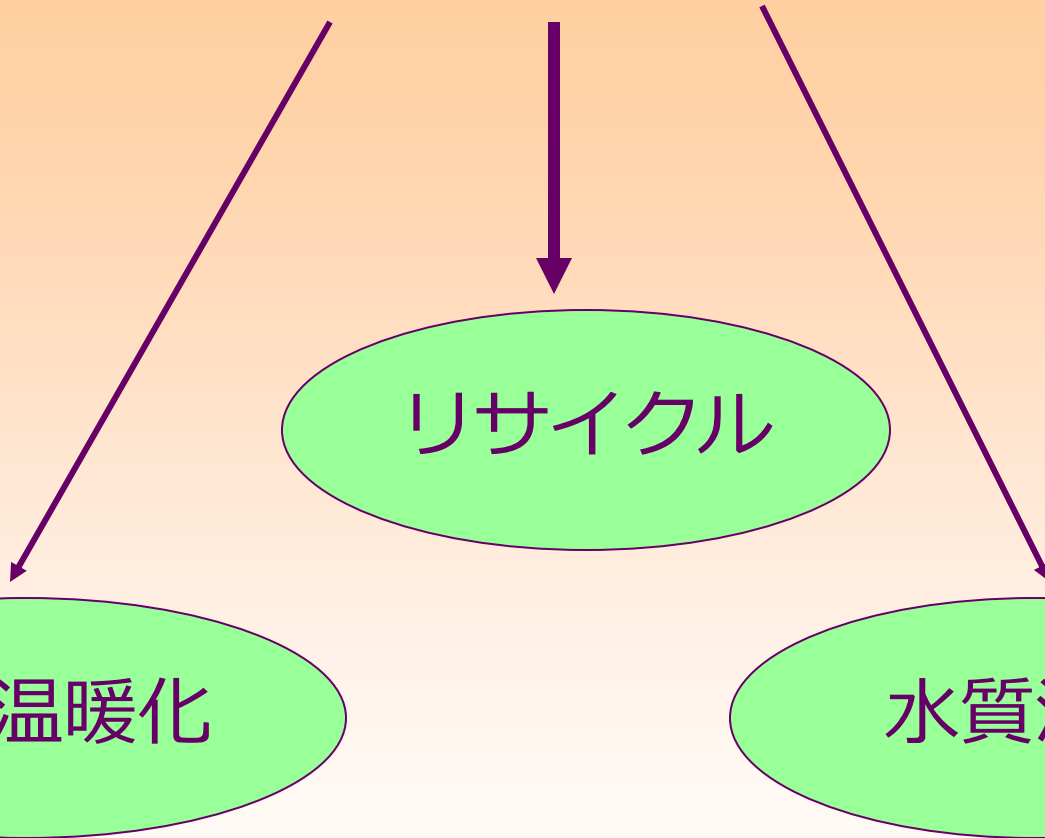
- 1自分の興味や問題意識に合わせてテーマを選ぶ
- 2選んだテーマについて、どのような視点から取り組むのかを考える

環境問題

リサイクル

地球温暖化

水質汚染



リサイクル

```
graph TD; A[リサイクル] --> B[• ペットボトルのリサイクル]; A --> C[リサイクルビンの流通過程]; A --> D[再生紙利用商品];
```

- ペットボトルのリサイクル

リサイクルビンの
流通過程

再生紙利用商品

視点

- 時代：昭和**60**年代以降、過去**10**年間
- 場所：都市、農村、大阪、日本、中国
- 立場：消費者、企業、被害者、母親

タイトルとサブタイトルを決める

- ペットボトルのリサイクル

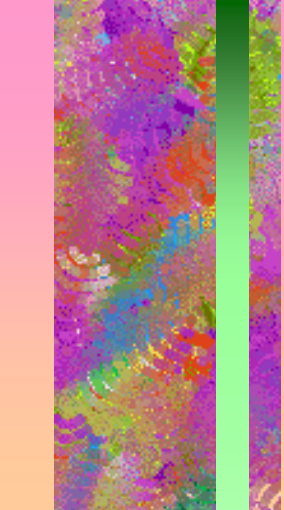
～昭和60年代以降の消費者運動を中心に～

- ペットボトルの再利用

～都市と農村の自治体における取り組みの違い～

- ペットボトルを使った商品開発

～消費者ニーズと企業の関係～



あなたは
何をテーマにしますか

?



「テーマの選択」ワークシート

今週の課題1

今週の課題2

- 「私と図書館」
ワープロで作成する。
文書の編集の復習
プリントして提出する
作成した文書はフロッピーに保存

今週の課題3

- **WebCT**を開いてみよう。
- **Opening Questionnaire**に答えてみよう。



WebCTを利用するにあたって、どのようなシステムなのかを簡単に説明します。
誰がどこで利用できるのか？ どんな機能があるのか？ などを理解し、授業の理解度
を確認するために可能な限り利用しましょう。

WebCTってなに？

Web Course Tool

Web上でのコースツールのことで、インターネットがつながっているパソコンであれば、授業時間外や自宅でアクセスして授業内容などを学習できるコースツールです。

誰が利用できるの？

夏学期 研究調査法を履修している学生であれば「研究調査法」のコースにアクセスで
き授業コンテンツの利用ができます。

学内で利用できる場所は？

?授業時間外で利用する⇒**L Rセンター・図書館**を利用する

WebCTの起動

?ブラウザを起動します。

?下記のURLを入力します。

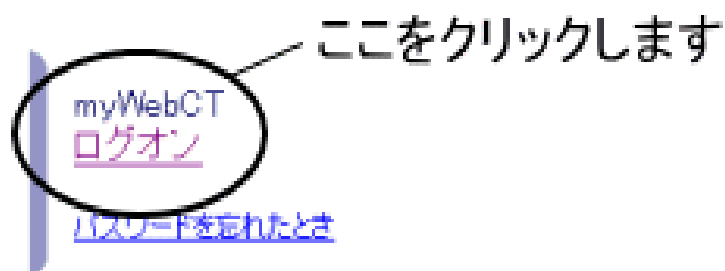
<http://ksg-webc.kyoto-seika.ac.jp> と入力

OJJCのホームページのスタディリンクから入ることもできる。

下記メニューが表示されます。



WebCT へようこそ



[ヘルプ](#) が必要

[コース](#) の表示

ユーザー名とパスワードを入力

「ユーザー名」と「パスワード」は研究調査法で配布した「ログイン名」と「パスワード」です。わからない場合は、CALLセンターで確認してください。

ネットワーク パスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 202.209.212.7

領域: ByPassword

ユーザー名(U):

パスワード(P):

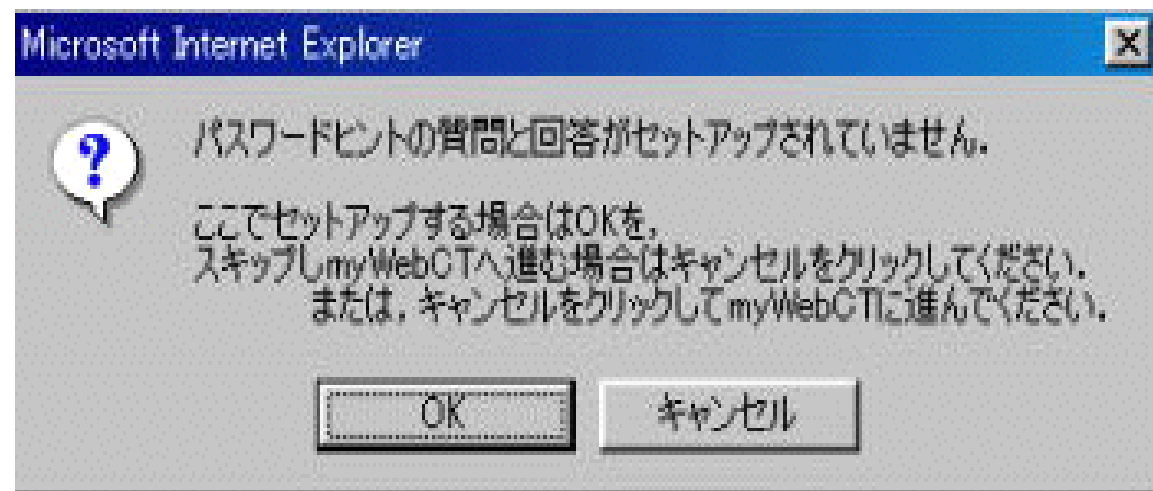
☐ このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し
「OK」ボタンをクリックします

大文字小文字も慎重に入力してください。
パスワードの変更については、各自ができますが、
変更したパスワードは忘れないようにしてください。
利用できなくなります。

最初にログオンしたときに登録するか聞いてきます。
「OK」をクリックし「ヒント」と「回答」を入力します。



ヒント:
IDとパスワードを忘れた時に尋ねる質問
回答:上記の質問の答え

コースを選択

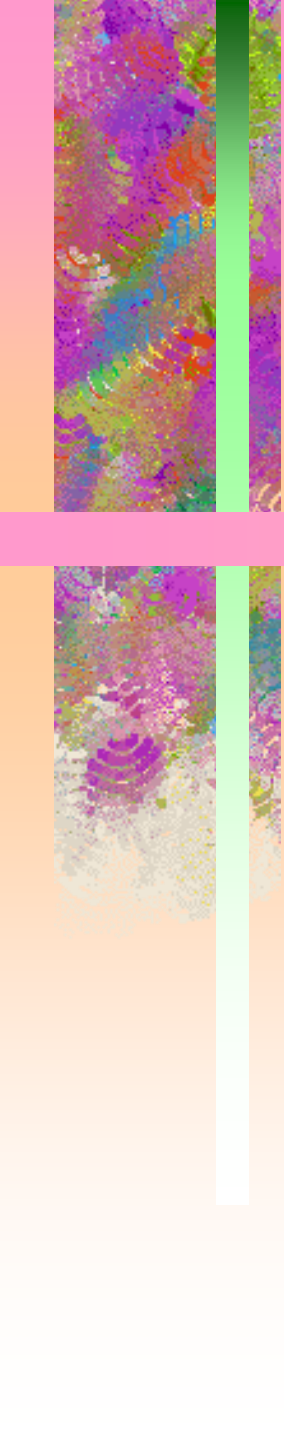
利用するコースを選択します。

画面左上に表示されている「研究調査法 秋」コースを選択します。

研究調査法 秋 ←ここをクリック

アクセス可能なテストがあります

新しい情報やコンテンツがアップされら表示されます。週に一度はチェックしましょう。



See you next week!